

科目名		リハビリテーション医学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

リハビリテーション医学の基礎知識を学び、理解を深める。リハビリテーションの全体の流れを知り、その中で義肢装具士としての役割を考える。

【授業全体の内容の概要】

多職種間連携を行う上で必要なリハビリテーション医学の基礎知識を学ぶ。事前学習として教科書の指定された場所を読むことを求める。講義は教科書に即して代表的な疾患(脳血管障害・脊髄損傷・脳性麻痺・神経筋疾患・関節疾患・廃用症候群)を中心に進める。

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

- ・リハビリテーションの代表的な疾患の説明ができる。各疾患に起因する典型的な障害像について説明ができる。
- ・国際生活機能分類に沿って障害の評価ができる。

回数	講義内容
1	授業オリエンテーション・リハビリテーション医学概論
2	リハビリテーション医学 概論
3	リハビリテーション医学 概論
4	リハビリテーション評価(生活機能評価・ADL評価)
5	リハビリテーション評価・廃用症候群
6	廃用症候群
7	中枢神経のおさらい・脊髄損傷
8	脊髄損傷
9	脊髄損傷・二分脊椎
10	脳性麻痺・神経筋疾患
11	脳卒中・脳性麻痺
12	脳性麻痺・組織学的なおさらい(神経)・神経筋疾患
13	神経筋疾患
14	関節リウマチ
15	他の疾患・質疑応答

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
最新リハビリテーション医学 第2版	監修 米本恭三	医歯薬出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験(終講試験・ノート提出)により認定する。